

News Release

2021年11月12日

報道関係者各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

製造業・建設業向けに、生産性向上、持続可能な社会資本整備、レジリエンス向上を提案する専門展示会
「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021」他展示会を開催
2021年11月24日（水）～26日（金） 東京ビッグサイト青海展示棟で開催

メンテナンス・レジリエンスTOKYO2021

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）（他3団体）は、2021年11月24日（水）～26日（金）の3日間、東京ビッグサイト青海展示棟で、製造業・建設業向けに、生産性向上、持続可能な社会資本整備、レジリエンス向上を提案する専門展示会「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021」を開催します。

本展示会は、「プラントメンテナンスショー」「インフラ検査・維持管理展」「建設資材展」「事前防災・減災対策推進展」「i-Construction 推進展」「無電柱化推進展」「再資源化・産業廃棄物処理・解体技術展」「地盤改良展」の8の専門展示会と3つの特別企画「工作機械の予知保全・メンテナンス特集」「土木・建設業向け AI/IoT/5G/システム/ツール特集」「BIM/CIM 推進ツール特集」で構成され、業界の枠を超え、関連の強い技術・情報交流を促進する場を提供いたします。また、同時開催となる「生産システム見える化展」「自動化・省人化ロボット展」と合わせて203社367ブースが参加し、来場者数10,000名を見込んでおります。

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021の主催企画として、前回も約2,000人の来場者が参加し、好評を得た「メンテナンス・レジリエンス特別講演会」を、2021年も開催期間中に展示会場内にて実施いたします。現在、展示会の公式ホームページ（<https://www.jma.or.jp/mente/tokyo/>）にて来場者事前登録を受け付けています。

各展示会の開催概要は、次ページ以降をご覧ください

【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター メンテナンス・レジリエンス TOKYO 事務局 担当：小板橋、飯村
TEL：03-3434-1988 E-mail：mente@jma.or.jp

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報・マーケティング室 担当：綿貫 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL：03-3434-8620または090-6510-9161 E-mail：jmapr@jma.or.jp

▼プレス登録方法

取材お申込みフォーム（<https://www.jma.or.jp/press/index.html>）からご登録ください。

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021 開催概要

名称：メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2021

(構成展示会)

「プラントメンテナンスショー」「インフラ検査・維持管理展」「建設資材展」

「事前防災・減災対策推進展」「i-Construction 推進展」「無電柱化推進展」

「再資源化・産業廃棄物処理・解体技術展」「地盤改良展」

「工作機械の予知保全・メンテナンス特集」「BIM/CIM 推進ツール特集」

「土木・建設業向け AI/IoT/5G/システム/ツール特集」

会期：2021年11月24日(水)～26日(金) 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 青海展示棟

主催：一般社団法人日本能率協会他3団体

展示規模：203社/367ブース(※同時開催展示会含む)

来場予定者数：10,000名(※同時開催展示会と第7回国際ドローン展含む)

同時開催展：第14回 生産システム見える化展/第5回 自動化・省人化ロボット展

メンテナンス・レジリエンス 特別講演会

本展併設企画として、製造業/土木・建設業における生産性向上についてなどの様々な取組み・仕組を紹介することで、現場の力を取り戻し、着実に我が国全体の底上げを図るための一助となることを目的に表記セミナーを展示会場内にて開催いたします。

<注目のセッション(一部抜粋)>

●11月24日(水) 10:40～11:20

「東京都の無電柱化への取組み」

東京都 建設局 道路保全担当部長 福永 太平 氏

●11月24日(水) 15:50～16:30

「2025年のプラント設備保全、その特徴と実践」

日揮 デジタルイノベーション室ビジネスデザイングループリーダー 金丸 剛久 氏

●11月25日(木) 13:30～14:10

「国土強靱化の推進について～防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の取組み」

内閣官房 国土強靱化推進室 参事官 神谷 将広 氏

●11月25日(木) 15:50～16:30

「生産現場でのIoT/AI技術を活用したスマート保安と品質向上～最新事例と導入に向けた課題と対策」

日本電気 AI・アナリティクス事業部 シニアマネージャ 相馬 知也 氏

注目出展者（一部抜粋）（法人の種類略）

システムプラス

＜製品名＞

音響カメラ SoundCam ファミリー

＜製品紹介＞

目で見ることは出来ない音を可視化する音響カメラ。

音を見える化することで、より直感的に音の探索が可能になります。

設備異常による異音（エアリーク音や放電音など）の探索に利用すれば、メンテナンスに貢献。

また、騒音対策のために利用するのであれば、大きな音がどこから聞こえているのかを視覚的に確認し、ピンポイントでの対策が可能となります。

日本製鉄グループ

＜製品名＞

CORSPACE®

＜製品紹介＞

・ コルスペースは、塗装の塗替周期延長を可能にする耐食鋼で、ライフサイクルコスト（LCC）縮減を実現する厚板鋼材です。

・ 鋼材に微量のスズ（Sn）を添加したもので、本鋼材の適用により、同じ塗装条件・使用環境下で塗膜欠陥部における鋼材腐食量が従来鋼に比べ大幅に抑制されます。

・ コルスペースは、特に塩害の厳しい環境で従来鋼に比べより効果を発揮することから、耐候性鋼橋梁の適用できない沿岸地域や、凍結防止剤散布の影響を受ける部位で特に、効果を発揮します。

富士通特機システム

＜製品名＞

発火監視通報システム

＜製品紹介＞

【よそには無い機能がてんこ！】

- 1) 赤外カメラ+カラー(ハイビジョン)カメラ搭載で現場確認が容易な2眼構造。
- 2) 火報メールと同時に赤外&ハイビジョン映像をスマホやタブレットでリアルタイム閲覧可能。
→ 日本全国どこに居ても24時間365日スマホやタブレットで火災現場の状況確認が可能。
- 3) 「温度監視機能」に加え一定時間の「温度上昇感知機能」も備えた「ダブル検知機能」搭載。
→ 温度監視機能だけでは見つけにくいリチウムイオン電池起因火災の早期発見をサポート。
- 4) 国内メーカーの消火設備と接続可能(スプリンクラー/放水銃等)。
- 5) 発火検知と同時に火災発生前後10分間(計20分間)の映像を自動保存するドラレコ機能搭載。
→ 原因究明や消防署等への報告資料作成に役立つ、USBやSDカードで映像データが取り出し可能！
- 6) カメラ筐体は屋外使用も想定したIP66(耐塵/耐水)相当の保護等級を確保。コンパクトな筐体にエアパージ機能も搭載し、粉塵の多い環境下でも使用可能。
- 7) シャッターレスの赤外線カメラを採用。稼働部分が無い分故障リスクが低い、オーバーホール不要で低いメンテナンスコストを実現！
- 8) パトライトとの接続も可能！機器の運用状況から発火時の警報まで見える化が可能。
- 9) 「マスクエリア設定機能」と「昼夜モード」の2段階構えの誤報削減にも配慮した設計。
- 10) POE給電方式により、カメラの配線工事はLAN線のみでOK(電源用の配線工事不要)

西日本高速道路メンテナンス九州

<製品名>

トンネル特殊両面距離標

<製品紹介>

道路の位置確認に貢献する距離標

○視認性の向上

構造を山折型とすることで、両方向からの視認性が良くトンネル内での位置確認が容易に出来る距離標です。

ソフトバンク

<製品名>

ichimill

<製品紹介>

ソフトバンクでは、人工衛星を利用した低コストな高精度測位補正情報配信サービス「ichimill（イチミル）」を提供しております。RTK を用いた建設現場における建機の自動化や現場管理の効率化、ドローンの飛行経路の自動制御等にご活用頂けます。

日立製作所

<製品名>

設備点検自動化サービス

<製品紹介>

無線センサーの後付けにより、設備の目視点検・聴音点検を簡単に自動化

日本ユニシス

<製品名>

工場設備向け不具合予兆検知サービス[VibSign™]

<製品紹介>

VibSign は加速度により回転機械の早期異常検知、機械学習による正常・異常自動判定を提供します。

これにより早期計画保全を実現し、機械停止による生産損失や、機械稼働不良による生産品質低下を低減します。

ムラテック販売

<製品名>

生産管理システム「GrowingMIS」

<製品紹介>

量産型から一品ものまで多様な生産形態に対応し、部品・加工・組立・製品製造といった中小規模製造業向けの生産管理システム。製造業の現場で培ったノウハウを反映し、お客様の環境変化・規模成長にも柔軟に対応できるのが特長です。Web システムなので、複数拠点・複数事業への展開も容易に実現可能です。

以上